

職場の知恵を家庭で生かし、 家族が一致団結して省エネ。

大阪府岸和田市 阿児明功さん

特徴

- ご主人、奥様、男の子3人(8歳、3歳、0歳)の5人家族。
- ご主人はエンジニアで環境関係の仕事に従事。
- このコンテストをきっかけに、家庭内で省エネに取り組むことを決定。
- 昨年11月に一戸建てに転居。エネルギー費が上がったので、この冬の省エネは専門知識を生かして、できることをすべて試した。
- 子供達も率先して協力し、いまや習慣化している。

引越後の光熱費にびっくり。 家族会議で「省エネ大作戦」を決定。

阿児さんは化学会社のエンジニア。環境関連の部署に所属しており、社員に省エネを呼びかける立場にいます。阿児さん一家は平成19年11月、マンション（鉄筋コンクリート）から木造一戸建てに引っ越しました。広さが約1.5倍になった結果、電力使用量も30～70%ほどアップ。予想以上に光熱費のアップ負担が大きく、しかも増加傾向にあり悩んでいたところ、当コンテストを知りました。このコンテストに挑戦することで、光熱費の削減と地球温暖化防止に貢献できないかと考え参加を決めました。

まず、家族会議を開き、省エネ活動を行うことを全員で決定。目標は2007年12月の電力使用量の20%削減です。さらに、省エネ習慣を身につけるため、家族で省エネ大作戦「家族で省エネ、10のポイント」の省エネチェックを実践することを決定しました。「家族みんなでがんばるぞ～」を合言葉に、阿児家の省エネ大作戦がスタートしました。



みんな笑顔で省エネをがんばっています！（阿児さんご一家）

暖気を逃がさないよう、 階段上り口に厚手カーテンを設置。

1階リビングから2階への階段上り口の開口部が大きく開いているため、熱が2階へ逃げて1階リビングが暖まりにくいという状況でした。しかも、8カ月の赤ちゃんがいることから、暖房温度を常時25～26℃に設定していました。そこで、奥様の提案で階段上り口の開口部に突っ張り棒を設置して厚手のカーテンを取り付けました。これにより、暖気が2階に逃げるのがなくなり、エアコン設定温度は20℃で十分暖かくなりました。



階段上り口に
取り付けたカーテン

以後、突っ張り棒の滑り止めの改良を行いながら、エアコンの設定温度は常に20℃にセット。必要な時のみ暖房運転を行っています。

また、室内の断熱効果



複層ガラスに
厚手のカーテンで断熱

を上げるために、引っ越し時に室内の窓ガラス全てをグレードアップ、複層ガラスに変更しました。この変更は、結露防止や防犯・防音にも効果があったそうです。

家族それぞれが担当を持ち、細かい省エネを実践。

小学校2年の長男に、現状の地球温暖化のことを説明すると興味を持ち、照明の消灯を「僕がする」と宣言。しかし、子供ですから背が低く、子供部屋と洗面所・トイレ照明のスイッチに手が届きません。そこで、子供部屋はリモコンを手の届く位置に取り付け、トイレ洗面所には踏み台を購入し、スイッチのON・OFFができるようにしました。



長男が照明を担当

また、奥様の提案で、給湯温度を38℃から35℃の最低設定温度に変更しました。今まで個別に入っていたお風呂も、一度にまとめて入るようにしました。

さらに、2階トイレの便座ヒーターの使用頻度が低いことから、便座ヒーターの電源を切って、便座カバーを取りつけるようにしました。1階トイレは、使用後のフタ閉めの徹底と節電スイッチON、さらに長時間使用しないことが予想される時は、8時間タイマーをONにするよう家族



2階のトイレの便座ヒーターは常にコンセントを抜いている



人センサー付スポットライトで玄関まわり照らす



待機電力削減のためにコンセントを購入

会議で話し合い、徹底を図りました。

その他、家の門扉照明を常時点灯（2カ所）から人センサー付スポットライトに変更したり、待機電力削減コンセントを購入し、不使用時はOFFにするよう徹底しました。

省エネナビのデータ解析で電気使用量を削減。

2月1日より、省エネナビを設置し、時間あたりの電力使用量と夜間不活動時の電力使用量を調査解析しました。その結果、夜間不活動時の電力削減要素として、1階トイレ便座ヒーターと浄水器のヒーターをそれぞれ夜間就寝前にスイッチをOFFとすることを決めました。

また、日中は、テレビ（液晶）とリビング照明（省エネタイプ）のウエイトが大きいことが分かり、テレビはつけっぱなしを止め、照明は省エネコントロール（30～60%）をこまめに調整するようになりました。その他、パソコン使用後の電源OFFの徹底や電気ポットの使用も止めました。



パソコンに向かい省エネ状況をチェックする阿見さん

整理整頓と光熱費の削減が図れ、子供達の躰にも役立ちました。

このコンテストに参加して、家族全員の省エネ意識が高まり、繰り返す言うことで子供たちも習慣づいて、電気のつけっぱなしがなくなったそうです。また、家庭のムダが分かり、さまざまな工夫を重ねることで整理整頓と光熱費の削減が図れ、子供たちの躰の向上にも役立ったそうです。

【エネルギー削減率】 20.3% (引越後3ヶ月で)

■プロフィール

住所：大阪府岸和田市
家族構成：5人（夫婦・子供（8歳、3歳、0歳））
住宅様式：一戸建て
省エネ活動について：今回はじめて実践
省エネナビ：設置